

## 令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める要望意見書

令和元年台風19号等の影響により東北、信越、関東、東海にかけて河川の堤防が決壊したほか、越水などによる浸水被害、土砂災害などが広範囲にわたり多数発生し、各地に甚大な被害をもたらしました。台風15号による被害の爪跡が残る地域では、追い打ちをかけるような事態となりました。

国は、被災直後から迅速な救助・救出活動、避難支援などの応急対応とともに早期復旧に向けたさまざまな取り組みに総力を挙げてきたところですが、どこまでも被災者第一で、今後の生活支援、早期の住まいの確保、産業・なりわいの支援など被災者に寄り添った支援が求められます。

また、水道や電気等のライフライン、鉄道や道路等の交通インフラの早期復旧、決壊した河川の堤防等では、二度と災害を起こさない改良復旧を強力に推進するとともに、ソフト・ハード両面にわたる復旧・復興に向けた総合的な支援策を強力に講じることが求められます。

よって、国においては、以下の措置を講じるよう強く要望いたします。

### 記

1. 被災者の1日も早い生活再建のため、既存制度の対象拡大や要件緩和など弾力的な運用を行うこと。
2. 医療施設、社会福祉施設、学校教育施設等の復旧、再開に向けて必要な支援を行うこと。
3. 商工業、農林水産業の早期事業再開のため、被災した事業用建物、設備、機材等の復旧を支援する補助制度を創設すること。
4. 被災地の風評被害払拭のため、旅行商品・宿泊料金の割引等に対して必要な観光支援を行うこと。
5. 被災地の切れ目のない復旧・復興の推進のため、復旧作業の進捗を見極めつつ、補正予算の編成について適切に判断すること。
6. 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の計画どおりの遂行と、期間終了後も必要となる対策が講じられるよう継続して予算措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月17日

北海道余市郡余市町議会議長 中井寿夫

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣